

S-BATTLE 2018 桜の陣 オープニングバトル

## ニューファイターバトル2018

- 競技クラス** ・フルコンタクト空手クラス  
●上級の部 ●中級の部 ●初級の部
- ・キックボクシングクラス  
●Aクラス(上級者) ●Bクラス(初級・中級者)
- 開催日時** 2018年 4月 15日 (日) 11:30受付 ルール説明  
試合開始時刻はHPにてご確認ください。  
<http://www.s-battle.com>
- 会場** 岡崎商工会議所 大ホール  
愛知県岡崎市奄美南1-2  
Tel0564-53-6161
- 参加費** 全クラス 5,000円
- 表彰** 勝利者賞トロフィー
- ルール** \* 別紙ルールブック参照、その他については当日ルールミーティングにて
- 連絡先** S-BATTLE事務局 〒444-0069 愛知県岡崎市井田新町9番地1 Tel0564-83-6600
- 締切** 3月 25日(水) 必着 (申込書に現金を添え各団体ごとまとめて現金書留にて郵送してください)
- 注意事項**
- \* 組合せは基本ワンマッチで、2試合の組み合わせもする場合があります。
  - \* 組合せは近い年齢、身長、体重、経験年数、実力を考慮し組合せをします。
  - \* 参加選手は、必ずスポーツ保険に加入し、主催側での保険は有りませんので  
試合中の怪我や事故等もスポーツ保険内で適用する事を了承し参加して下さい。
  - \* 試合中の怪我は、大会救護員の応急手当てとなりますので保険証等を持参してください。
  - \* 試合組合せ表は、事前にHPに掲載し当日会場でも配布致します。
  - \* 参加選手には、お弁当は有りません。(会場近くに飲食店やコンビニ等は多数有ります)
  - \* 会場は、プロ興業オープニング試合の為入場料がかかりますのでご了承ください。  
(各団体に付き 代表者1名、1選手に1名は、セコンドとして入場できます)  
(各団体プロ・アマ問わず、セコンドは最大4名までです)
  - \* 試合用具は別紙ルールブックを参照して頂き、各自用意してください。
  - \* キックボクシングクラスについて、申込み頂いた階級で試合の組合せが出来ない場合は  
試合可能体重内で試合の組合せを行う場合がありますので、ご了承願います。  
(事前に確認の連絡をさせていただきます)
  - \* ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせください。

# ニューファイターバトル申込用紙

## 空手・キック

### 誓約書

私は、本書面の誓約を確認後、下記申込用紙に署名捺印し偽りなく申請して本大会のルールに沿って、武道、格闘技を学ぶ者として正々堂々と試合を行い判定には、審判の判定に委ね、事故、怪我等を負っても主催者側には一切の異議申し立てを致しません。

フリガナ				印	
参加者氏名					
保護者氏名				印	
緊急連絡先	-	-	性別	男	女
生年月日	S・H	年	月	日	才
身長 体重	cm		kg		血液型  型
	試合可能体重(キックボクシングクラスのみ)				
	kg		~ kg		
経験年数	年	段位・級		アマチュア戦績	
		年	級	段	戦
<small>&lt;過去1年間の大会入賞歴&gt; ※組合せの際に必要なになりますので、必ず記載して下さい。</small>					

空手 クラス	少年 初級の部	少年 中級の部	少年 上級の部
	成人 初級の部	成人 中級の部	成人 上級の部

シキ ング スグ クボ ラク	ジュニア Bクラス	ジュニア Cクラス	
	成人 Aクラス	成人 Bクラス	成人 Cクラス
申 込 階 級	フライ級=52kg以下	ライト級=65kg以下	ヘビー級=80kg以上
	バンタム級=56kg以下	ミドル級=70kg以下	/
	フェザー級=60kg以下	ライトヘビー級=80kg未満	/

※女性、ジュニアクラスにつきましては階級ではなく、年令、身長、体重、経験年数、実力を考慮し組合せをします。

団体名 代表者名 住所 電話 メール <small>(〒印で結構です)</small>	<h3 style="margin: 0;">極真会館 浜井派</h3> <h3 style="margin: 0;">愛知 石川道場</h3> <h3 style="margin: 0;">師範 石川 昭</h3> <p style="margin: 0;">〒470-1101 愛知県豊明市春井町徳田153番地</p> <p style="margin: 0;">TEL・FAX 0562-95-1077</p>	印
------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

●判定基準

<1レフェリー 3ジャッジ 1ラウンド 10ポイント 減点方式>

◆判定基準順位

①ダウン > ②有効打 > ③攻撃数(積極性) > ④主導権(リングジェネラルシップ)

- \* 有効打とは腹部、大腿部等の急所へヒットし、ダメージが伴う攻撃
- \* 突きや蹴り等、いずれの攻撃でもダメージを見て同等に評価する
- \* 蹴りを腕でブロックしていても、腕へのダメージがあると判断した場合は有効打として評価する
- \* 各ラウンド、上記①～④の判定基準に基づいて総合的に判定をし、その場合においても試合内容に差がみられなかった場合に限り、10-10のイーブンとなる

◆ポイントについて

1ポイント (技有りと同様)	・ダウン一歩手前の強いダメージが残る攻撃を受けた時 ・イエローカードの宣告を受けた時
2ポイント (一本と同様)	・有効打によりダウンした時 *各ラウンドで2回目以降のダウンは1ポイントとする ・レッドカードの宣告を受けた時

●勝敗

1. 判定

ノックアウト、テクニカルノックアウトで勝敗が決定しない場合に、ジャッジ3名による採点をとり最終ラウンド終了後に各ジャッジのポイントを集計して、ポイントが多い選手を勝ちとし2名以上のジャッジの支持によって勝者を決定する  
\* ジャッジ1名だけの支持、もしくはジャッジ3名ともイーブンの場合は引き分け(ドロー)とする

2. ノックアウト(KO)

- a) ダウンして5カウント以内に立ち上がり、ファイティングポーズを取らない場合  
もしくは5カウント以内に立ち上がれないとレフェリーが判断した場合
- b) 5カウント以内に立ち上がっても戦う意志が無い、あるいは戦えないとレフェリーが判断した場合
- c) 1ラウンド中に2回のダウンがあった場合

3. テクニカルノックアウト(TKO)

- a) 負傷(原因が双方の偶発性による場合)の為、試合続行不可能とレフェリーが判断した場合
- b) 試合進行中、セコンドがリングにタオルを投入した場合
- c) インターバル終了後、一方の選手が試合に臨めない場合
- d) レフリーストップ  
選手の一方が著しく優勢で、劣勢な選手が危険な状態とレフェリーが判断した場合
- e) ドクターストップ  
大会医師が選手の負傷、あるいは大きなダメージにより試合続行不可能と判断した場合  
\* 負傷の原因が相手の正当な攻撃、または負傷した選手自身にある場合、負傷した選手を敗者とする  
\* 負傷の原因が相手の反則による場合、負傷した選手を反則勝ちにする

4. 失格

- a) 時間内に計量をパスできず、双方の選手、その所属団体と主催者間の協議においても不成立の場合
- b) 反則行為により、注意、警告を受けた後、さらに反則を犯した場合
- c) 悪質な反則により、レフェリーが即時失格と判断した場合
- d) ファールカップ、道着などのコスチュームが破損し、予備が無く、試合を続けられない場合

5. ドロー

- 両選手が同時にダウンし、双方とも5カウント以内に立ち上がれなかった場合(ダブルノックダウン)  
注) 1ラウンド中に、一方が1度のダウン後、ダブルノックダウンが発生した場合について(2ノックダウン制)
- a) 双方が5カウント以内に立ちあがった場合は、2回ダウンした選手のTKO負け
  - b) 双方が5カウント以内に立ちあがれない場合は、ドローとなる
  - c) 1回ダウンした選手が5カウント以内に立ち上がり、1度目のダウンをした選手が立ちあがれなかった場合もドローとする

6. ノーコンテスト(無効試合)

- a) 一方または双方の選手に不正行為があった場合、もしくは第三者介入による不正行為が試合中に認められた場合
- b) 1ラウンド目に偶発的な事故、あるいはダメージにより一方または双方の選手の試合続行が不可能となった場合

7. 負傷判定

2ラウンド目に偶発的な事故、あるいはダメージにより一方または双方の選手の試合続行が不可能となった場合そのラウンドを含めた成立ラウンドでの採点結果を集計し、勝敗を決する

●その他

- ・選手とセコンドは、必ず試合当日のルールミーティングとリハーサルに参加する事
- ・各自で用意した試合用具は、破損しても試合が継続できるように予備を用意しておく事、予備が無い場合は失格とする
- ・反則攻撃によりレフェリーが選手に対しインターバルが必要と判断した時は、回復時間を与えた後に試合を再開する
- ・ラウンド終了間際のダウンについて、全ラウンドを通してレフェリーのダウンカウントを優先しダウンカウントが終了した後に、ラウンド終了のゴングを鳴らす(全ラウンドともゴングに救われない)

●備考

- ・スポンサーの方の協力が有ったの活躍の場です、勝利者賞授与時、写真撮影等心良い形で行って下さい
- ・チケット販売、会場の盛り上げ、観客の方へのファンサービス等、良識有る範囲で自由に行って下さい

## ●判定基準

<1レフェリー 3ジャッジ 1ラウンド 10ポイント 減点方式>

## ◆判定基準順位

①ダウン > ②有効打 > ③攻撃数(積極性) > ④主導権(リングジェネラルシップ)

- \* 有効打とは顔面、腹部、大腿部等の急所へヒットし、ダメージが伴う攻撃
- \*パンチやキック等、いずれの攻撃でもダメージを見て同等に評価する
- \*キックを腕でブロックしていても、腕へのダメージがあると判断した場合は有効打として評価する
- \*各ラウンド、上記①～④の判定基準に基づいて総合的に判定をし、その場合においても試合内容に差がみられなかった場合に限り、10-10のイーブンとなる

## ◆ポイントについて

- ・1ポイント=フラッシュダウンやダウン一歩手前の強いダメージが残る攻撃を受けた時、イエローカードの宣告を受けた時
  - \*フラッシュダウン:ダメージのないダウン、バランスを崩している際の攻撃による転倒など
  - その他、フラッシュダウンかどうかの判断は各ジャッジに委ねる
- ・2ポイント=有効打によりダウンした時、レッドカードの宣告を受けた時
  - \*各ラウンドで2回目以降のダウンは1ポイントとする

## ●勝敗

## 1. 判定

ノックアウト、テクニカルノックアウトで勝敗が決定しない場合に、ジャッジ3名による採点を取り最終ラウンド終了後に各ジャッジのポイントを集計して、ポイントが多い選手を勝ちとし2名以上のジャッジの支持によって勝者を決定する  
\*ジャッジ1名のみ支持、もしくはジャッジ3名ともイーブンの場合は引き分け(ドロー)とする

## 2. ノックアウト(KO)

- a)ダウンして**5カウント**以内に立ち上がり、ファイティングポーズを取らない場合  
もしくは**5カウント**以内に立ち上がれないとレフェリーが判断した場合
- b)**5カウント**以内に立ち上がっても戦う意志が無い、あるいは戦えないとレフェリーが判断した場合
- c)1ラウンド中に**2回のダウン**があった場合

## 3. テクニカルノックアウト(TKO)

- a)負傷(原因が双方の偶発性による場合)の為、試合続行不可能とレフェリーが判断した場合
- b)試合進行中、セコンドがリングにタオルを投入した場合
- c)インターバル終了後、一方の選手が試合に臨めない場合
- d)レフリーストップ  
選手の一方が著しく優勢で、劣勢な選手が危険な状態とレフェリーが判断した場合
- e)ドクターストップ  
大会医師が選手の負傷、あるいは大きなダメージにより試合続行不可能と判断した場合  
\*負傷の原因が相手の正当な攻撃、または負傷した選手自身にある場合、負傷した選手を敗者とする  
\*負傷の原因が相手の反則による場合、負傷した選手を反則勝ちにする

## 4. 失格

- a)時間内に計量をパスできず、双方の選手、その所属団体と主催者間の協議においても不成立の場合
- b)反則行為により、注意、警告を受けた後、さらに反則を犯した場合
- c)悪質な反則により、レフェリーが即時失格と判断した場合
- d)マウスガード、ファールカップ、キックパンツなどのコスチュームが破損し、予備が無く、試合を続けられない場合

## 5. ドロー

両選手が同時にダウンし、双方とも**5カウント**以内に立ち上がれなかった場合(ダブルノックダウン)  
注)1ラウンド中に、一方が**1度のダウン**後、ダブルノックダウンが発生した場合について(2ノックダウン制)  
a)双方が**5カウント**以内に立ちあがった場合は、2回ダウンした選手のTKO負け  
b)双方が**5カウント**以内に立ちあがれない場合は、ドローとなる  
c)**1回ダウン**した選手が**5カウント**以内に立ち上がり、1度目のダウンをした選手が立ちあがれなかった場合もドローとする

## 6. ノーコンテスト(無効試合)

- a)一方または双方の選手に不正行為があった場合、もしくは第三者介入による不正行為が試合中に認められた場合
- b)**1ラウンド目**に偶発的な事故、あるいはダメージにより一方または双方の選手の試合続行が不可能となった場合

## 7. 負傷判定

**2ラウンド目**に偶発的な事故、あるいはダメージにより一方または双方の選手の試合続行が不可能となった場合  
そのラウンドを含めた成立ラウンドでの採点結果を集計し、勝敗を決する

## ●その他

- ・選手とセコンドは、必ず**試合当日のルールミーティングとリハーサルに参加する事**
- ・各自で用意した試合用具は、破損しても試合が継続できるように予備を用意しておく事、予備が無い場合は失格とする
- ・反則攻撃によりレフェリーが選手に対しインターバルが必要と判断した時は、回復時間を与えた後に試合を再開する
- ・ラウンド終了間際のダウンについて、全ラウンドを通してレフェリーのダウンカウントを優先し  
ダウンカウントが終了した後に、ラウンド終了のゴングを鳴らす(全ラウンドともゴングに救われぬ)

## ●備考

- ・スポンサーの方の協力が有っての活躍の場です、勝利者賞授与時、写真撮影等心良い形で行って下さい
- ・チケット販売、会場の盛り上げ、観客の方へのファンサービス等、良識有る範囲で自由に行って下さい